

学修状況調査（2021 年度） 分析結果

学修支援センター

2022 年 4 月 2 日

本資料は、2021 年 12 月 15 日から 2022 年 1 月 28 日にかけて学修支援センターが実施した「学修状況・満足度調査」に関して、学修状況に関する部分の回答内容を分析したものである。同様の調査は、抽出形式で 2013 年度前期から、悉皆形式で 2017 年度前期から年 2 回ずつ行ってきた。しかしながら、最近、学生向けの別調査やアンケートの機会も増えてきたことも踏まえ、2019 年度からは学修状況と満足度を年度末にまとめて調査している。

今回の調査は、本学が学生に提供している Web サービスを用いて全学生を対象として実施した。また、これまでと同様、学修支援センターに在籍する教務委員の方々を中心にそれぞれの学部の取りまとめを行っていただいた。

回答状況を表 1 に示す。人数が少ない学部・学年もあるが、全学部・学年より回答が得られた。全在籍者数に対する回答率は 17.0%と、前回の 23.6%より 6.6 ポイント低い結果となった(前々回は 45.9%)。前回の回答数と比べると、学部別では 5~8 割程度になっており、学年によらず減少の傾向が見られる。一昨年度に比べて前回・今回の回答数が少ないのは、本学の新型コロナウイルス感染拡大防止対策などで例年よりも学生に連絡・調査依頼する機会が増えたことや、教職員向けに調査の趣旨などの周知不足が原因と考えられる。

表 1 回答状況（学部・学年別）

	総合経営学部	社会学部	ソフトウェア 情報学部	薬学部	学年計
1 年生	17 名	19 名	9 名	8 名	53 名
2 年生	14 名	9 名	19 名	13 名	55 名
3 年生	6 名	23 名	11 名	8 名	48 名
4 年生	13 名	10 名	6 名	8 名	37 名
5 年生				8 名	8 名
6 年生				4 名	4 名
学部計	50 名	61 名	45 名	49 名	205 名

今回の調査項目（学習状況部分）は、学修時間に関する質問のみとした。前回は「本学の学修達成度評価ルーブリックに関する質問」も調査項目に含めたが、今年度は同様の質問を別調査で学生に尋ねた。また、「学修状況・満足度調査」の満足度に関する部分（質問 2 以降）については「満足度調査（2021 年度）分析結果」にまとめている。

以降、それぞれの質問に対して、前期調査との比較も含めた分析結果を述べる。

学修時間に関する質問では、授業時間外学修の状況を中心に、一週間あたりの時間の使い方を尋ねた。前回の学修時間に関する質問では、「ゼミ活動や研究室での研究活動」、「授業の予習」、「授業の復習」、「資格取得のための自主的な勉強」、及び「部活動・サークル活動」について今回と同じ選択肢から選択してもらった。また、一週間あたりの授業回数を別に尋ねた。今回は、昨年度に文部科学省が実施した「全国学生調査（試行実施）」の問3「授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間」の項目を一部取り入れ、「授業（実習・実験含む）への出席」、「授業の予習」、「授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」、「授業以外（資格取得など）の学習」、「部・サークル活動」、「大学外でのアルバイトや仕事」、及び「就職・進学などに関わる活動」にかけている時間を、それぞれ尋ねた。

質問 1.(ア) 典型的な一週間あたりの「授業（実習・実験含む）への出席」時間

授業に出席している時間（図 1）は、全学的に半数以上が「週 10 時間以上」と回答した。学部別の割合は薬学部が 83.7%ともっとも多く、総合経営学部が 24.0%と少ない。また、ゼロや「週 1 時間未満」の回答も全学部にわたって見られるが、この回答は 4 年次以降の学生に多いことから、「卒業研究」、「卒業論文」、及び学外での実習を、「授業」とは別に捉えている可能性がある。

週あたりの授業に関しては、前回調査までは授業数を問うていたため結果の単純比較は行えないが、学部別・学年別の傾向は同様であった。

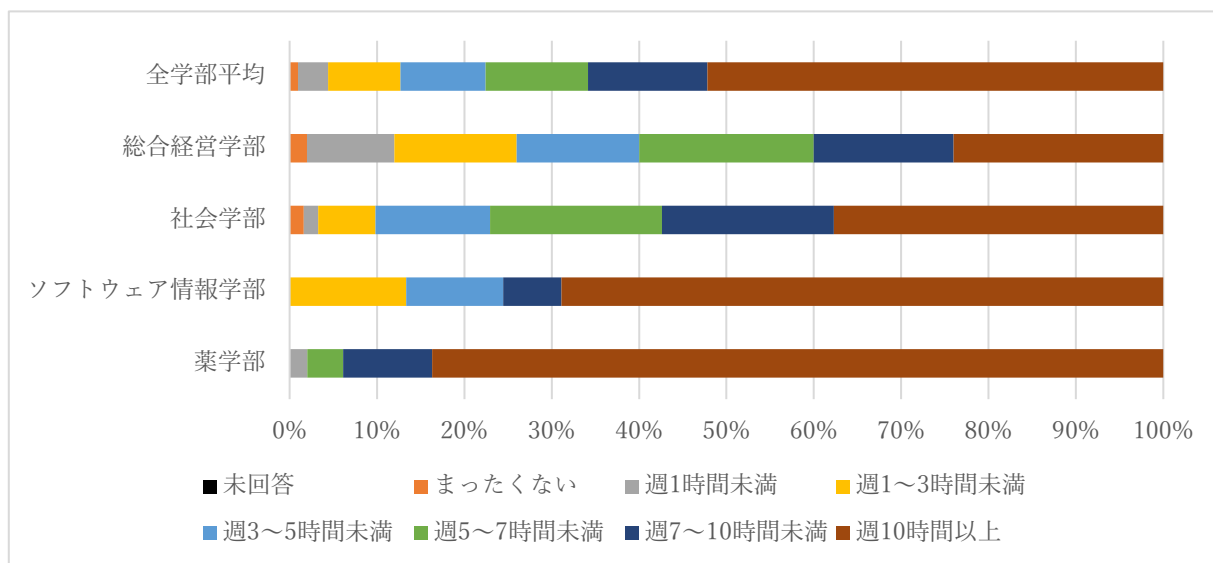


図 1 「質問 1(ア) 典型的な一週間あたりの「授業（実習・実験含む）への出席」時間の回答分布

授業の予習と復習に書ける時間は、図 2 や図 3 のような状況であった（配色は図 1 と同じ。以下の図も同様）。予習よりも復習にかけられる時間が多い傾向が、今回も見られた。また、薬学部においてほぼすべての学生が日常的に復習を行っており、週に 10 時間以上行っている学生が 8.2%と、かけている時間が長い学生も一定数居ることも、これまでと同様である。

全体的な「実施している者」の割合は、予習が 79.5%、復習が 90.7%であった。昨年度までは数年間にわたっていずれも増加の傾向が見られたが、前回調査と比べると予習は数ポイント下がり、復習には有意の変化はなかった。特に総合経営学部で予習を行っている者が 8.4 ポイントと大きく減少している。

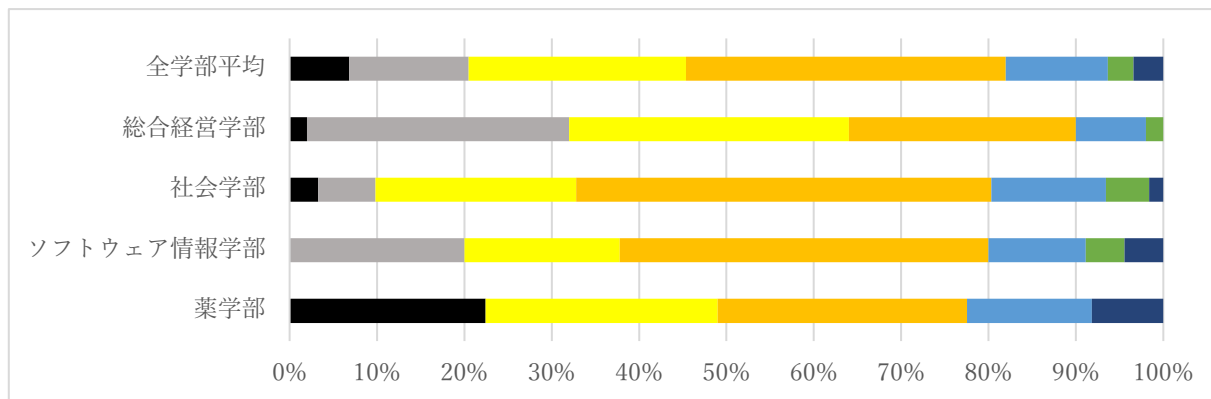


図2 質問 1.(イ) 典型的な一週間あたりの「授業の予習」時間の回答分布

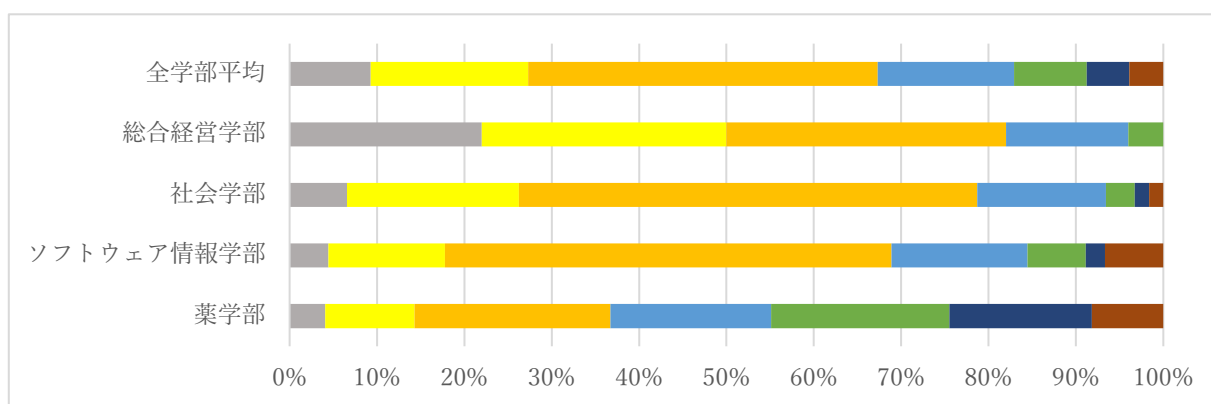


図3 質問 1.(ウ) 典型的な一週間あたりの「授業の復習（宿題や課題を行う時間を含める）」時間の回答分布

予習や復習と別の資格取得のためなどの自主的な勉強時間は図4のようになった。全体では、「実施している」割合が社会学部・ソフトウェア情報学部で多く、総合経営学部・薬学部では少ないが、後者では7時間以上の時間をかけている学生が前者よりも多い。

これまでの調査と比較すると、全学の「実施している」割合は64.4%で、過去4回の調査と同様に概ね6割前後である。また、薬学部の「実施している」割合が少なく、かつその中で長時間自主的な勉強を行っている率が高めという傾向も過去数年間は一貫して見られる。薬学部以外では、社会学部の「実施している」割合が78.7%と、前回、前々回から増加の傾向が続いており、学部間でもっとも多くなっている。

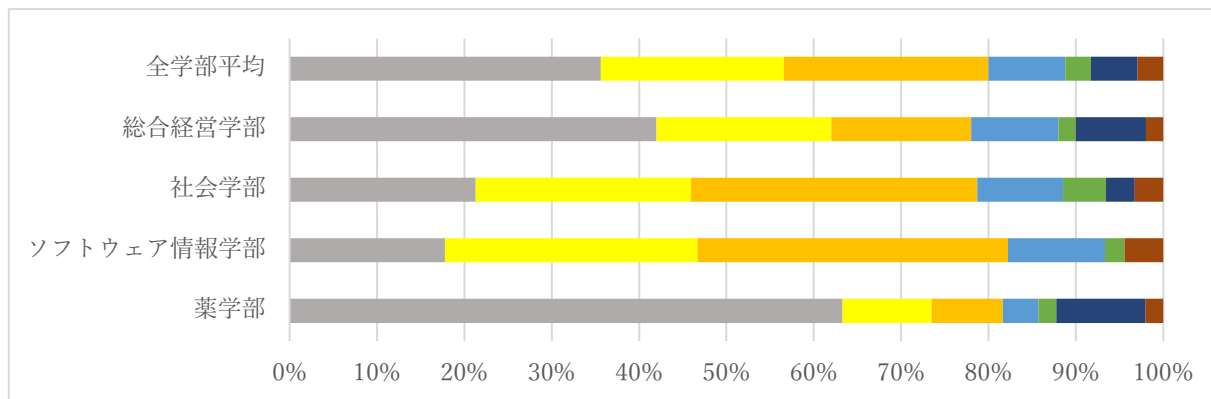


図4 質問 1.(エ) 典型的な一週間あたりの「授業以外（資格取得など）の学習」の回答分布

部活動・サークル活動にかかる時間は図5のようになった。総合経営学部がもっとも多く、次いで社会学部、ソフトウェア情報学部の順となった。このうち週に5時間以上かけている割合は、総合経営学部：18.0%（12.0ポイント減）、社会学部：9.8%（4.4ポイント増）、ソフトウェア情報学部：8.9%（3.2ポイント減）、薬学部：2.0%（0.5ポイント増）であった（カッコ内は前回との比較）。総合経営学部で大きな減少があったのは、新型コロナウイルス感染症予防のために運動系の部活動が制限されたことによると考えられる。また学年別では、前々回までは学年進行にともない割合が減、前は学年による差はほぼ見られなかったものの、今回は3年次がもっとも「実施している」割合が大きかった。

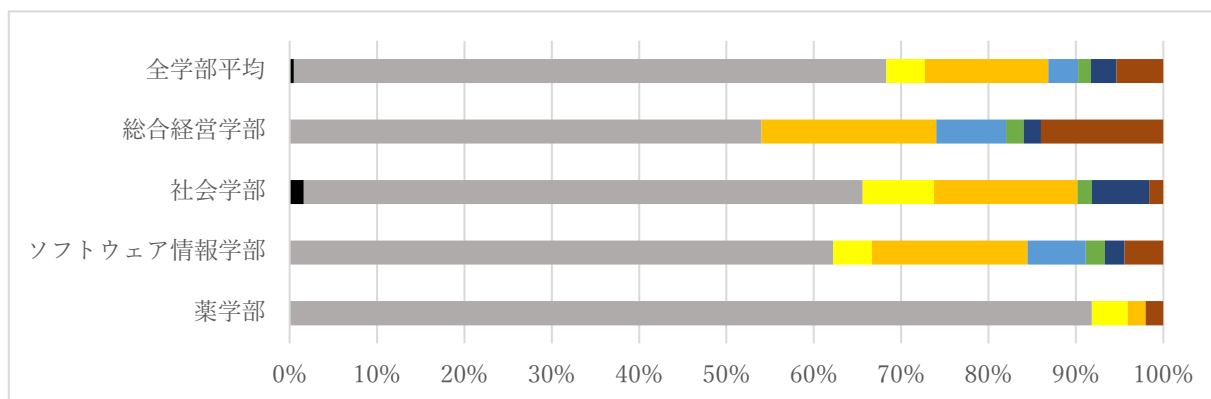


図5 質問 1.(オ) 典型的な一週間あたりの「部・サークル活動」時間の回答分布

大学外でのアルバイトや仕事にかかる時間は図6のようになった。大学全体では前回までと同様に半数程度の学生が「実施している」と回答した。このうち週5時間以上行っている割合は、総合経営学部：48.0%（2.5ポイント増）、社会学部：45.9%（0.5ポイント減）、ソフトウェア情報学部：37.8%（3.6ポイント減）、薬学部：18.4%（0.5ポイント増）であった（カッコ内は前回との比較）。いずれも昨年度から大きな変化は見られない。

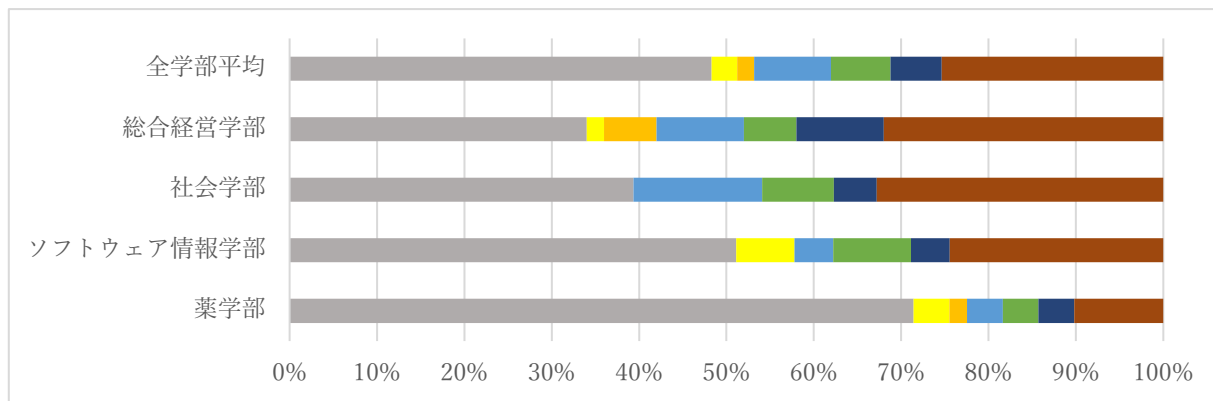


図6 質問1.(カ) 典型的な一週間あたりの「大学外でのアルバイトや仕事」時間

就職・進学などに関わる活動にかかる時間は図7のようになった。全体では42.5% (3.0ポイント増)の学生が「実施している」と回答し、学部別では最も割合が大きい社会学部が57.4% (2.0ポイント増)、最も少ない薬学部が14.3% (3.9ポイント増)であった。学年別では3年次が75.0%と多く、次いで4年次、1年次、2年次の順となった。

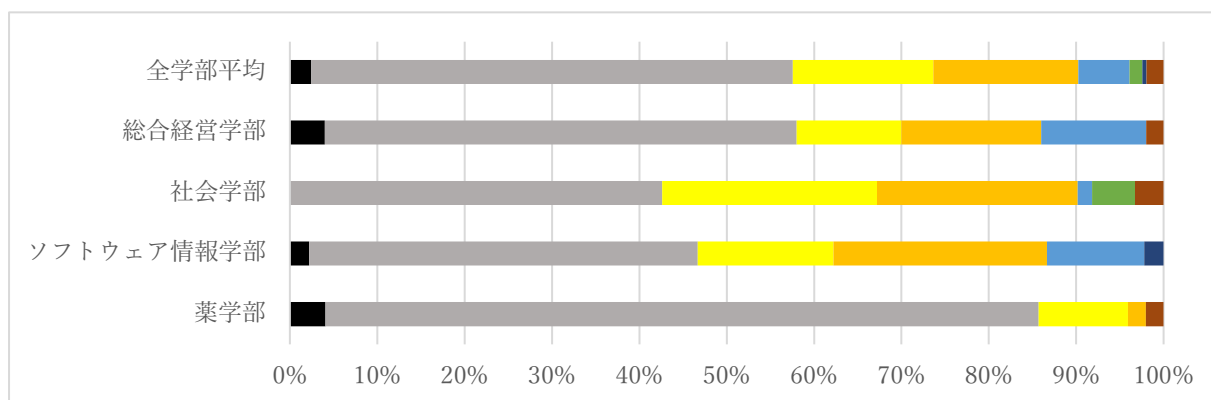


図7 質問1.(キ) 典型的な一週間あたりの「就職・進学などに関わる活動」時間

2021 年度 「学修状況・満足度調査」(学修状況の部分)

質問 1.(ア) 典型的な一週間あたりの「授業(実習・実験含む)への出席」時間

質問 1.(イ) 典型的な一週間あたりの「授業の予習」時間

質問 1.(ウ) 典型的な一週間あたりの「授業の復習(宿題や課題を行う時間を含める)」時間

質問 1.(エ) 典型的な一週間あたりの「授業以外(資格取得など)の学習」

質問 1.(オ) 典型的な一週間あたりの「部・サークル活動」時間

質問 1.(カ) 典型的な一週間あたりの「大学外でのアルバイトや仕事」時間

質問 1.(キ) 典型的な一週間あたりの「就職・進学などに関わる活動」時間

質問 1.(ア)~(キ)の選択肢

- ◇ まったくない
- ◇ 週1時間未満
- ◇ 週1~3時間未満
- ◇ 週3~5時間未満
- ◇ 週5~7時間未満
- ◇ 週7~10時間未満
- ◇ 週10時間以上